

復興公営住宅整備事業で最後に完成した新西前沼第三復興住宅3号棟(あゆみ野三丁目)で3月10日、事業全体の完了式典が開かれ、復興の最優先に位置付けられた「住まいの再建」の目標達成を祝いました。新西前沼第三復興住宅3号棟は32戸を整備し、亀山市長から入居者代表の佐藤正一さんに、鍵が手渡されました。亀山市長は「今後は復興を完結させ、持続的な発展を見据えたまちづくりに全力で取り組んでいきます」と述べました。震災後、市内に整備された復興公営住宅は4,456戸で、被災自治体で最大の数です。







復興公営住宅整備事業の歩み

平成23年度	10月	市災害復興住宅供給計画策定
24年度	10月	市災害復興住宅供給計画地区別整備計画策定
25年度	9月	事前登録受付開始
	3月末	149戸完成
26年度	10月	半島沿岸部の復興住宅の入居開始
	11月	市街地部の復興住宅の入居開始
	3月末	780戸(計929戸)完成
27年度	3月末	1,509戸(計2,438戸)完成
28年度	10月	市街地再開発事業による復興住宅入居開始
	3月末	1,235戸(計3,673戸)完成
29年度	1月	共助型復興住宅の入居開始
	3月	市災害復興住宅供給計画第5回改定
	3月末	596戸(計4,269戸)完成
30年度	7月	半島沿岸部の復興住宅の整備完了
	3月	市内全域の復興住宅の整備完了
	3月末	187戸(計4,456戸)完成
		圆 住宅課(内線5752)